

あかるいまち21

	9月累計	2019年度
組合員ふやし	57人	558人
出資金ふやし	294万円	4960万円
純増	9万円	721万円

No.1256 2019年9月13日 組合員活動推進課 082-532-1264

まちづくり委員会で西区生活支援コーディネーターの末井さんが講演

8/29(木)のまちづくり委員会では西区社協の末井さん(西区生活支援コーディネーター)に、「介護予防・日常生活支援総合事業における生活支援体制整備事業について」講演していただきました。

生活支援コーディネーターとはまだあまり知られていない存在ではありますが、地域包括ケアシステムを構築していくために、各区社協に一人プラス広島市に1人が広島市社会福祉協議会に配置されています。その役割は、高齢者の在宅生活を支えるため、新たな資源開発・関係者のネットワーク化、地域で求められている支援の発掘とサービス提供主体の育成やマッチングなど



を行い、地域における生活支援・介護予防の提供体制の整備に向けた取組を推進することにあります。ですので、今後当保健生協が積極的に地域包括ケアシステムに関わっていこうとする際の橋渡しをしていただくことが期待される方です。

まちづくり委員会としては、今後深いお付き合いをいただくことになる方なのでまずは顔合わせの意味も込めて、講師をお願いしたものです。講演は、地域包括ケアシステムの必要性から、協議体の設置状況などについてですが、残念ながら協議体の設置についてはほとんど進んでおらず、準備会的な協議の場を9月に入ってから持つという事とでした。委員会では今後も適宜末井さんとコンタクトをとり、勉強会に来ていただくことを確認しました

ヒロデンと懇談～8号線(横川駅～観音マリーナホップ)のバス便増の要望の件～

9月5日(木)観音天満支部の運営委員、社保平和委員、まちづくり委員でヒロデン本社にて懇談しました。これは「あれ、おかしい」カードで「観音新町から横川駅のバスの便が少ない、困っている」との声から、運営委員会で論議するとともにヒロデンに懇談を申し入れる中で、やっと実現したものです。広電本社ビルでバス事業本部都市圏輸送営業部部長、課長、係長他、計4名と1時間懇談し、以下のことが明らかになりました



- ① バスの運転手不足、及び採算の点で、バスの便の増は困難。
- ② 但し、市の補助金も利用しながら、生活交通手段として乗合タクシーで運行しているところもある。(黄金山、牛田、中野、美鈴が丘、大塚西、亀山)
- ③ 安芸高田市、廿日市市、北広島町のようにデマンドバス(定まった路線を走るのではなく、利用者の呼出しに応じるにより適宜ルートを変えて運行されるバスのこと)の活用をしている行政もあるが、広島市ではやっていない。
- ④ 広島市が主催する広島市地域公共交通活性化協議会、地域公共交通会議などがあり、そこに意見が反映できないか。

翌日の支部運営委員会で「市は高速道路建設や広島駅の大規模改装など優先しており財源がないわけではない。本当に困っている地域の高齢者・住民のために税金を使うべきだ。市の情報も集めながら、長期的な取り組みにしていこう。」という方向性を話し合いました。